

## ご挨拶

2018年が始まりました。議員になって4年目、いよいよ任期の最終年に入ろうとしています。

これまで「マイノリティが住みやすい社会こそ、誰にとっても住みやすい社会」を信念に活動してきました。性的マイノリティの方を対象とした相談窓口の開設や、外国人を含めた連絡会の設置などの成果もある一方で、子育て環境の改善などの課題も残っています。

また、今年は憲法改正の議論が現実にも動こうとしています。私は地域での活動を通じて、憲法を守るということを公約として掲げてきました。決してあきらめず、全力を尽くしたいと思います。

岩瀬 たけし

# 岩瀬たけし

## プロフィール

1977年生まれ。早稲田大学法学部卒業。同大学院経営学修士号(MBA)取得。三井化学(株)勤務後、国際協力機構(JICA)等の専門家として、全世界20ヵ国以上で地域開発事業を実施。国際的に働く妻、3歳の息子、義母と大泉学園町在住。第18期練馬区議会議員に初挑戦で当選。市民の声ねりま副代表  
●文教児童青少年委員会  
●交通対策等特別委員会

1 面 議会報告、読者の声

2 面 対談企画 岩瀬たけし × 高口ようこ

▶4月15日 練馬区長選 / 練馬区議補選

3 面 練馬区にも児童相談所を！＜視察報告＞  
いわせてカフェのご報告

4 面 岩瀬たけし 2017 年の活動のふりかえり

## 読者の声

### ■公立中学校の選択制に賛成？反対？

練馬区では、学区に関わらず中学校を選べる「学校選択制度」を導入しています。人気校と不人気校の両極化など弊害も発生する中で、見直すべきでは、とブログに書いたところ、多くのご意見をいただきましたので抜粋して紹介します。

選択制によって学校同士を競わせることになり、学校と地域との繋がりも弱まります。選択制は廃止すべきと考えますが、頂いた課題に対しても選択制以外の方法で解決を図る必要があると思います。



地域の中学校に行った方が、ベターだとは思いますが、ただ、具体的ないいじめがある場合に限らず、選択の自由は認めて欲しいと思います。他の学校に行きたいという希望は、無条件で書いてあげて欲しい、それさえできれば、別にいい、と思います。

「選択」という聞こえのよい言葉を使っていますが、結果的には統廃合の口実に使われています。「選ばれる中学校」になるように学校側が生徒を指導管理する道具にしています。



我が家の場合、選択した学校の方が近くて小学校時代の友人がほとんど通う学校です。制度がなければ友人や地域とのつながりなどが途絶えてしまいます。今後の子供達が選択できる権利をなくすのはかわいそうです。

## 議会報告

### ■官から民はいいことばかり？

## 下がっている「コスト」、その理由はなに？

2017年12月に行われた第四回定例会で、特に議論となったのが図書館や児童館の指定管理でした。指定管理とは、公の施設の管理を民間の団体が行うことです。

区は、指定管理を導入することで「経費の削減」ができると思います。しかし、図書館や児童館などの公共施設における「経費」の大半は人件費です。

例えば、今回の定例会で議論となった稲荷山図書館では29名の職員のうち、非正規職員が約半数の15名で、南大泉図書館では58名のうち、50名に達していました。継続して働いている職員の比率も、5年前から勤務している職員は稲荷山図書館では3割、南大泉図書館でも6割でした。

全国で指定管理の導入が進んでいますが、労働条件が厳しく働き続けることができないという方も多くいます。指定管理を次々と拡大するのではなく、まずは現在の指定管理の状況について精査すべきです。



# 練馬区にも児童相談所を！〈視察報告〉

3

## 横須賀市の児童相談所を訪問して

都内の児童相談所はこれまで東京都が設置・運営をしてきましたが、2016年の児童福祉法の改正により、練馬区をはじめとする特別区では、独自に「区立」の児童相談所を設置できることとなりました。現在、23区のうち、22区が児童相談所の設置に向けて動いています。最も早いのは荒川区、世田谷区、江戸川区で2020年度、板橋区でも2021年度の開設をめざしています。

**23区で唯一、児童相談所の設置に否定的なのが練馬区です。**練馬区は、反対の理由として①児童の主な入所先である児童養護施設は都内外各地に分散していて広域的な調整が必要であり、広域行政が望ましい、②職員には高い専門性が必要で、その確保と育成には東京都のノウハウが必要である、③児童相談所の事務について東京都と十分な協議が行われていない、としています。そして、児童相談所を設置する代わりに、都の児童相談センターとの連携強化を図るとしています。



横須賀市児童相談所「はぐくみかん」  
池尻議員と岩瀬たけし



### ■児童相談所ってどんなところ？

児童相談所(児相)は、18歳未満の子どもに関する相談に対して、児童福祉司などの専門家が応じる所です。

区の子ども家庭支援センターなどの相談機関に比べ、専門的な知識が必要なケースを担当します。児童虐待の他、保護者の事情で子どもが家で生活できない▽知的・身体障害▽不登校▽家出や乱暴▽里親制度などについて相談できます。児童虐待の相談があれば、児相は必要に応じて家庭などに立ち入ったり(立入調査)、保護者の同意がなくても子どもを保護したり(一時保護)できます。保護された子どもは一時保護所などで生活します。



そうした中、実際の児童相談所の運営について調査するため、人口40万人の中核市として児童相談所を設置している横須賀市を視察しました。

開設にあたっては様々な課題があったものの、「横須賀の子どもは横須賀が守る」という強い決意のもと、当時の法律を変えるよう働きかけを行って設置に動いたそうです。設置の結果、一貫した支援体制ができる、子どもに対して効果的な支援が行えるといった大きなメリットがあったとのこと。特に、児童相談所を持つことで、施設に入った時、子ども達がどんな生活を送っているかなど、初めてわかることが大きかったとのことでした。

児童相談所の開設には人員の配置、予算など多くの課題があることは事実ですが、それでも、既に実施している自治体も存在し、22区では前向きな検討も行われている中で、練馬としても、その課題を乗り越えていくための努力や取り組みが求められると思います。

# いわせてカフェのご報告

## ① 亜由未が教えてくれたこと

津久井やまゆり園で大量殺人事件を受けて、NHKが「亜由未が教えてくれたこと」という番組を制作しました。12月のカフェでは、亜由未さんを長く地域で支えてきた方からお話を聞き、参加者の皆さんと障害について考えることを目的にしました。

私からは練馬区の福祉行政の現状についても簡単にお話させていただきました。

皆さんのお話の中で、印象に残った言葉の一つが「障害を持った事は不幸ではない。不便ではある。」という言葉でした。皆さんとの対話を通じて、障害を除いていくプロセスこそが政治の課題である、ということ改めて実感しました。

皆さんと地域の課題について一緒に考え、解決策を模索していく、素晴らしい経験をさせていただきました。

## ② LGBTってなに？

1月のカフェは、「性的マイノリティ」をテーマに開催しました。まず私からLGBTへの認識が不足しているだけでなく、地域や学校での取り組みなどが遅れていることについて指摘しました。

その後、地域に暮らす当事者の方々からお話を伺いました。日々、服装や振る舞いに悩み、同じ言葉でも誤解を受けやすいこと。性というのはグラデーションのように人の数だけ存在するものなのだから、それを受け入れられる社会になつて欲しいということ。

今回、特に印象的だったのは参加者同士の対話でした。終了後、何人もの方が認識不足だったことがわかった、目からウロコだったとおっしゃっていました。こうした取組をカフェを通じて行えたのがとても嬉しかったです。



### LGBT...

女性同性愛者 (Lesbian)、男性同性愛者 (Gay)、両性愛者 (Bisexual)、性同一性障害を含む出生時に診断された性と、自認する性の不一致の人々 (Transgender)、の接頭語をとった言葉



市民の声  
ねりま

岩瀬たけしが所属する会派、市民の声ねりまの機関紙「いぶき」購読料1,000円(年4回送料込)

市民の声ねりまは、一人ひとりの市民の思いをつなぎ、声を区政に届けます。

「ともに生きるともにつくる」まちと政治、池尻成二と岩瀬たけし、二人の議員を先頭にごんばっています！

申込・お問合せ 〒178-0061 練馬区大泉学園町3-1-32-205 岩瀬たけし事務所(03-5935-4071)



## ●岩瀬

私と同世代の高口ようこさん、4月の区議補欠選にむけ、市民の声ねりまの予定候補として走り回っています。子育てのこと、まちや区政のことを一緒にお話ししたいと思います。

高口さんがいま関心を持って取り組んでいる地域の課題は何でしょうか。

## ●高口

私の地元・桜台は、放射35号線、通称「タテ3」という道路問題で揺れています。閑静な住宅街のド真ん中に、27×35mの大型道路…50年前、田んぼだらけの頃の計画ですよ。

これからの時代、大切なのはコミュニティ。大きな道路でまちを分断するなんて、古い、です！他にも、江古田の駅前や桜台のまち中を分断する「補助172号線」の計画が。

## ●岩瀬

私の住んでいる大泉で地域の方の関心が高いのは、光が丘から大泉学園町までの大江戸線の延伸計画ですね。最近、大きく動いています。延伸は必要ですが、一方で、閑静な環境や街並みをどう守っていくかが課題になっています。

## ●高口

大泉や石神井もそうですが、今、道路は練馬全体の問題ですね…。それから、子どもが通う小竹小と旭丘小、旭丘中の統廃合の問題。学校は、地域コミュニティの拠点です。統廃合より、一人ひとりの子どもが見守られる環境を、しっかりと守っていくことだと思います。



高口ようこ

練馬区議会議員補欠選挙・予定候補  
1980年、練馬区桜台に生まれ育つ。現在は小竹町在住。開進第三小・中、都立大泉高校、慶応義塾大学文学部卒。フリーのライターとして、子育て・教育分野、練馬地域の取材など活動の場を広げる。2016年夫をがんて亡くし、ひとり親に。好きなTVは『相棒』

## ●岩瀬

お子さんの話が出たので、子育てについても伺いたいと思います。

私も3歳の息子がいるのですが、朝、ミルクをこぼす息子の口と床をあわてて拭いて、着替えさせて、保育園に連れて行って、迎えに行ったら5分刻みで明日の用意をして…という生活の中で、日本での子育てのしづらさについて実感を持って感じるようになりました。妻もかなり激務なので、子育ては家族総動員体制です。

## ●高口

両親が近居で、お迎えや休日の外出など、助けられています。ひとり親なので、両親がいなかったら、とても無理ですね…。とはいえ、頼んではばかりは悪いので、できないことは割り切るしかない。たとえば朝の駅頭は、自転車やバスで行ける近い駅だけ、と決めています。

## ●岩瀬

例えば、赤ちゃん連れで議場に入って批判された熊本市議が話題になる日本と、かたや首相が6週間産休に入る国、ニュージーランド。子育てのしやすさが国や地域によって違う。私自身も、区議をしていると、家庭の事情で仕事を休むのも難しく、実はいいじやあばが居ないと成り立たない現実に日々、矛盾を感じています。

## ●高口

でも、子どもがいるから助かることも多いんですよ！8歳の上の子は、掃除、お皿洗い、卵焼きを作る、妹の世話と、大活躍！何より、「かか、がんばってねー」と2人が応援してくれるから頑張れるんです。PTA役員をしていたり、親の出番の多い幼稚園だったり、確かに大変ですが、子どもの縁は大きいです。

そもそも、子どもがいなかったら、議員をめざさなかったと思います(笑)。

## ●岩瀬

日本はまだまだワークライフバランスの概念が浸透していない。男性も女性も、「家庭が仕事か」を選ばなくてよい環境づくりをする必要があると思います。



## ●高口

昨年12月1日の区報に、(練馬区)の男女別の職員数が載りました。合計は女性のほうが約500人も多い。主任級までは女性が男性を上回りますが、係長級から上は、一気に男性優位！部長級では、男性5…女性1という割合に。同じく区議会も、男女比が5…1程です。傍聴しても、本当に「男性ばかり」という印象。練馬区にも「ガラスの天井」があるんだな…。女性議員が増えるためには、会社や団体、家庭、そして自治体のなかで、女性の地位と発言力が向上しないとイケません。国政選挙で、当選した女性議員のまわりでバンザイをする支持者が、ズバリと男性ばかり…という光景を見ると、すごく違和感がありますね。

## ●岩瀬

息子を育てる中で、ジェンダーについて考えさせられることが沢山あります。「仕事と子育ての両立をどうするの?」と聞かれるのは常に、私ではなく妻であること。仕事を早退して息子を病院に連れていくだけで、私は「イクメン」と褒められるが、妻が私と息子を残して出張に行けば、「かわいそう」と。一方、男性も育児や家事したいんだけど、まず働き方を改革しないと無理という話を聞きます。

## ●岩瀬

政府が唱える「女性が職場で輝く」社会は、このような現状を維持したままでは女性にはかなり負担がかかる社会になってしまいます。まずは「男性が家庭や地域で輝く」環境づくりを、後押ししなくてはイケません。

さて、最後に高口さんが議員になって実現したいことは何でしょうか?

## ●高口

たくさんあって困る質問ですね(笑)一つは…私は一昨年、夫を末期がんで亡くしました。在宅介護・医療の連携で亡くなる前日まで、自宅で療養できました。会社の傷病手当金などの制度も助かりました。

でも、夫がもし一人暮らしだったら? 非正規雇用で、クビにされたら…? 病気になるっても働ける、病気に限りませんが、一度辞めても復帰できる制度づくりが必要です。そして在宅医療・介護ももっと推進しなければと思います。

それからやっぱり、子どもの環境です。「ドフえもん」のような空き地やはらっぱを作り、地域の大人が見守り、時々叱ったりして、関係が生まれる。そこに暮らす人の姿が、まちの中に見える…。そんなまちにしたいですね!



岩瀬たけし  
4つの  
基本政策

- 「平和と人権」、「いのちとくらし」の区政を!
- 高齢者、障がい者、性的少数者、外国人など多様性尊重の練馬へ!
- 「女性の活躍」のためにも、男性が地域と家庭で輝くまちへ!
- 子どもの個性を尊重し、世界で活躍する人材を!

4月15日

練馬区長選挙+練馬区議会議員補欠選挙





## ■ 岩瀬たけし 2017年のふりかえり



2016年は事務所を開設し、地域に根付くための一歩を踏み出す、そんな一年でした。

そして、2017年は市民の声ねりまの会員や、地域の皆さんのおかげで活動を大きく広げることができました。

昨年から開始した「大泉わくわく講座」では、大学の恩師で憲法学者の樋口陽一さんをはじめ、地域在住の歴史学者の和田春樹さん、樹木医の安東信さん、児童文学翻訳家の金原瑞人さんと西田佳子さんにお話しいただき、毎回多くの方にご参加いただきました。

市民の声ねりま主催の「夏の平和企画」では、「大泉で平和を考える」というテーマで地域の戦争体験者の方からお話を伺いました。また、秋の旅行では、銚子と成田空港を訪問。空港建設に関わる地域での課題などを勉強しました。

地域の皆さんと区政についてざっくばらんに話し合う「いわせてカフェ」、去年は7回開催し、そこでいただいたご意見を議会でも一般質問のテーマに取り上げました。

皆さんからのご提案で映画上映会や、共謀罪についてのシール投票、絵本読み聞かせ、出張講座などの新しい試みも行いました。

こうして一年を振り返ると、皆さんのおかげで活動の内容も幅も広げることができた気がします。

2018年もこうした地道な活動を通じて、ぜひ皆さんの意見を議会に届けていきたいと思います。

### いわせてカフェ

- 話そう、地域のこと
- 会場・資料費 200 円
- キッズスペースあり

2月18日(日)  
14:00~16:00  
大泉北地域集会所

### 練馬区議会

- どなたでも傍聴できます
- 本会議と委員会日程は区HPで
- 練馬駅西口から徒歩 5 分

2月2日(金)~  
3月9日(金)

- 大泉わくわく講座
- いわせてカフェ
- 駅頭でのご報告
- いわせてかわら版
- メルマガ
- オフィシャルサイト

2カ月に1回程度、地域に関する課題について勉強会などを行っています  
各地域で区政報告会や地域の方からお話しを伺う懇談会を開催しています  
毎週、水・木・金曜日の朝7時~大泉学園駅、保谷駅等で活動報告を行っています  
年4回の議会ごとに区政報告とイベント等をお知らせしています  
日々の活動を配信しています  
<http://iwasetakeshi.net/>



岩瀬たけし



お気軽にお問合せください!

◆ 岩瀬たけし事務所 〒178-0061 練馬区大泉学園町3-1-32-205  
TEL/FAX : 03-5935-4071 E-mail : lwaseteNerima@gmail.com  
◆ 事務所開所日 毎週火曜・木曜10:00~17:00(祝日をのぞく)

